

# どうなる？愛媛の人口問題

愛媛の人口は、**133万人** → **78万人**

令和2年（2020年）

令和42年（2060年）

【今治市 151,672人 → 83,181人 上島町 6,509人 → 2,398人】

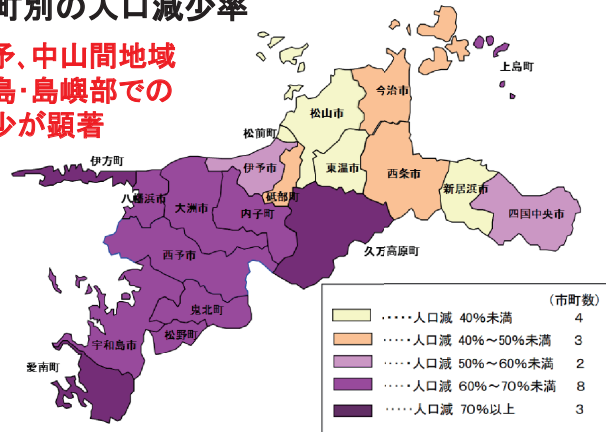
## 将来推計人口（地域別）

	2020年	2040年	2060年	減少率 2020 → 2060
愛媛県	1,334,841	1,059,241	783,547	△41.3%
東予	461,664	361,952	264,246	△42.8%
中予	637,742	549,798	437,432	△31.4%
南予	235,435	147,492	81,869	△65.2%

想定よりも早いペースで人口減少が進み、今年度中には130万人を下回る可能性

## 市町別の人口減少率

南予、中山間地域  
半島・島嶼部での  
減少が顕著



## これまでの生活は維持できない……

～人口減少により考えられる問題点～

税収の減少による行政サービスの低下    バス路線の廃止    集落の無人化    公共施設の廃止  
 商店の撤退・縮小（買い物難民）    病院の撤退    医療・介護費の増大    後継者・担い手不足  
 空き家や耕作放棄地の増加    学校の統廃合    社会インフラの老朽化    若者や子供の激減  
 働き先の減少    若者の大都市への流出    地域の伝統行事の廃止    飲食店・娯楽施設の縮小

## 人口に見合った都市の再編が必要

そのため、人口増加や高度経済成長で拡大してきたものを  
取捨選択して、整理していくことが求められる。

## 街頭演説が活動の原点



毎週月曜日の朝は、今治・小泉交差点の街頭演説から活動を開始しています。早いもので、立ち続けて10年が経ち、馴染みの方々も増えてきました。



日々の政治活動や政策関連などはFacebookに掲載しております。ご参考して下さい。

## 農林水産委員会視察 ～県農林水産研究所～

県議会農林水産委員会の現地視察で農林水産研究所を訪問しました。

同研究所が14年の歳月をかけて開発した、かんきつ新品種である「紅プリンセス」の育成について説明を受けました。

また、担い手不足や高齢化が進む問題の解決へ、農薬などを散布するドローンや里芋の収穫機や分離機といった省力化を目指す農機の実演を見せてもらいました。



新品種の「紅プリンセス」、「紅まどんな」の栽培を見学する。(9/28)



散布中のドローン

里芋の分離機